

令和6年能登半島地震の対応について

(令和6年1月16日)

能登半島地震に関する兵庫県の支援の状況	02
先遣隊派遣による被災状況の把握	03
現地のニーズに沿った人的・物的支援	04
「オールひょうご」での官民連携した総合的な支援	10
被災地への今後の支援	11

能登半島地震に関する兵庫県の支援の状況

1 被災地支援に向けた体制整備

関西広域連合において、被災後速やかに**災害対策支援本部**、**現地支援本部**を設置し、支援方策を検討
また、本県のカウンターパート（対口支援）先である石川県珠洲市を支援するため、**現地連絡所**を設置
加えて、県・市町がオール兵庫として一体的に支援するため、**兵庫県支援本部**を設置

● [関西広域連合]

- ・ 災害対策支援本部を設置（R6.1.2） ⇒ 支援本部会議を開催（R6.1.4）
- ・ リエゾン派遣（R6.1.2）に引続き、現地支援本部（石川県庁内）を設置（R6.1.4）
 - └ 珠洲市現地連絡所（珠洲市役所内）の設置（R6.1.6）

※関西広域連合広域防災局・兵庫県

● [兵庫県]

令和6年能登半島地震 兵庫県支援本部の設置・開催（R6.1.5）

2 支援方針

阪神・淡路大震災で培った経験を活かし、以下の3つの柱を基本として**オール兵庫で支援**

- I 先遣隊派遣による被災状況の把握
- II 現地のニーズに沿った人的・物的支援
- III 「オールひょうご」での官民連携した総合的な支援

I 先遣隊派遣による被災状況の把握

1 被害の状況 【石川県災害対策本部員会議（1/15 [月] 16時）資料より】

（1）人的被害

	死者	行方不明者	負傷者		合計
			重傷	軽傷	
石川県	2 2 2	確認中	1 0 2 5		1 2 4 7
うち珠洲市	9 9	0	1 4 5		2 4 4

※安否不明者は22人（うち珠洲市は4人）

※災害関連死は14人（うち珠洲市は6人）

（2）建物被害

	住家（棟）					非住家（棟）		
	全壊	半壊	一部 損壊	床上 浸水	床下 浸水	小計	公共 建物	その他
石川県	1 9 1 7 2			6	5	1 9 1 8 3	1 8 2	3 8 8
うち珠洲市	多数					多数		

（3）ライフライン 停電 約8,800戸（うち珠洲市は約2,500戸）

断水 約55,510戸（うち珠洲市は約4,800戸）

（4）避難所状況 3 9 0カ所（16,742人）（うち珠洲市は4 9カ所（3,170人））

※1.5次避難所 2カ所（239人）

2次避難所 2 6カ所（1,083人）

II 現地のニーズに沿った人的・物的支援

1 支援の状況（主なもの）

① 人的支援

- 1/2 先遣隊（関西広域連合）を派遣（石川県庁）
- 1/5 現地連絡所先遣隊、保健師、EARTH先遣隊を派遣
- 1/6 **現地連絡所開設**（珠洲市役所）
- 1/7 避難所運営支援先遣隊を派遣
- 1/8 避難所運営支援職員（第1陣、神戸市と合同）を派遣（1/9～**現地活動開始**）、DPATを派遣
- 1/10 兵庫県DMAT（災害派遣医療チーム）、EARTH第2次先遣隊を派遣
- 1/11 避難所運営支援職員（第2陣、新たに3市町の参加開始）、し尿処理支援職員を派遣
- 1/15 応急危険度判定員、EARTH第1次を派遣



珠洲市避難所運営支援職員派遣
【1/8兵庫県・神戸市合同出発式】



緊急支援物資（毛布等）
【1/2,1/3,1/11に広域防災センターから発送】



現地連絡所の様子

② 物的支援

- 1/2～3 緊急支援物資（保存用飲料水・アルファ化米、毛布・携帯トイレ等）を搬出
- 1/11 追加の緊急支援物資（リゾットご飯、長期保存パン等の食料品、非接触体温計等）を搬出

③ 救急・救助活動

- 1/3 緊急消防援助隊（航空小隊）を派遣
- 1/15 緊急消防援助隊兵庫県大隊を派遣

④ 機材等の支援

- 1/3～ 給水支援（神戸市等）、トイレカー設置（南あわじ市）等による各種支援を実施

2 職員の派遣

1/15時点
職員派遣数

313人(県53人、市町等253人(28団体)、その他7人)

延べ人数 409人
(県112人、市町等282人(28団体)、その他15人)

区分	県		市町等		その他		合計	
		()		()		()		()
関西広域連合リエゾン派遣	0	(4)	2	(4)			2	(8)
珠洲市現地支援本部リエゾン派遣	4	(6)	2	(4)			6	(10)
珠洲市避難所運営支援	12	(22)	20	(26)			32	(48)
緊急消防援助隊	0	(16)	182	(182)			182	(198)
震災・学校支援チーム(EARTH)	12	(22)					12	(22)
保健師チーム	6	(9)	5	(5)			11	(14)
災害派遣医療チーム(DMAT)	10	(16)	10	(14)			20	(30)
災害派遣精神医療チーム(DPAT)	0	(3)					0	(3)
日本医師会災害医療チーム(JMAT)	2	(4)	0	(1)			2	(5)
災害支援ナース	1	(1)	1	(1)			2	(2)
被災建築物応急危険度判定	2	(4)	4	(6)			6	(10)
人と防災未来センター現地調査					4	(12)	4	(12)
給水車・トイレカー支援			11	(20)			11	(20)
土木施設の応急復旧			16	(16)			16	(16)
し尿処理支援	4	(4)					4	(4)
栄養・食生活支援	0	(1)					0	(1)
その他			0	(3)	3	(3)	3	(6)
合計	53	(112)	253	(282)	7	(15)	313	(409)

※市町等には一部事務組合を含む ※ () は延べ人数

【被災地での活動状況】



【珠洲市物資集積拠点での活動 1/10】



【県・市避難所支援チーム出発前ミーティング 1/10】



【珠洲市内での避難所支援職員の活動 1/11】



【県・市避難所支援職員引継の様子 1/12】

3 物資の支援

1/15時点
食料・飲料水支援数

約48,000食・約9,500ℓ

品目等	搬出日	数量	搬出元	搬出先
保存用飲料水 0.5 ℓ	1/2 (火)	16,800本	広域水道事務所多田浄水場	志賀町役場
アルファ化米等		11,300食	県広域防災センター	
ブルーシート		1,600枚		
毛布	1/3 (水)	4,595枚	県広域防災センター	内灘町役場
携帯トイレ等		65,200枚ほか		七尾市役所
生理用品	1/8 (月)	7,000枚		珠洲市
毛布	1/4 (木)	300枚	神戸市 (ノビ アスタジ ム神戸)	宝達志水町役場
粉ミルク等		672本ほか		
アルファ化米等	1/5 (金)	480食	宝塚市	富山県氷見市
飲料水 0.5 ℓ		480本		
生理用品等	1/7 (日)	2,000枚ほか	南あわじ市 ※後述のトイレカーと併せて搬出	珠洲市
アルファ化米等	1/11 (木)	36,258食	県広域防災センター	珠洲市
非接触体温計		100個		
携帯用トイレ等	1/11 (木)	400個ほか	尼崎市	珠洲市
飲料水 2 ℓ	1/11 (木)	420本	香美町	能登被災地支援本部 (金沢市)

4 救急・救助活動

機材	派遣期間（予定含む）	台数	人数	派遣元	派遣先
緊急消防援助隊兵庫県大隊・救急車、重機等	1/15（月）～	52	182	県内全24消防本部	輪島市
消防防災ヘリ(1機) ・車両	1/3（水）～1/5（金） 1/11（木）～1/14（日）	2	8	兵庫県・神戸市	石川県内

5 機材等の支援

機材	派遣期間（予定含む）	台数	人数	派遣元	派遣先
給水車・指揮車	1/3（水）～1/6（土）	3	6	神戸市	穴水町
給水車	1/6（土）～1/11（木）	1	3	豊岡市	
給水車等	1/11（木）～1/18（木）	2	4	西宮市	
トイレカー	1/7（日）～	1	3	南あわじ市	珠洲市



緊急消防援助隊兵庫県大隊
（県内全24消防本部）
【1/15に輪島市へ派遣】



給水車（豊岡市）
【1/6に穴水町へ派遣】



自走式水洗トイレカー（南あわじ市）
【1/7に珠洲市へ派遣】

6 その他（県の支援状況等）

○ 県営住宅の提供

- ・ 提供戸数 60戸（今後、状況に応じて順次追加）
- ・ 入居期間 原則6か月以内
（住宅再建に時間が必要な場合は、当面
最長2年まで延長可）
- ・ 問合せ・申込先 兵庫県まちづくり部公営住宅管理課（078-230-8459）



1/15現在の問合せ数：6件

○ 見舞金の贈呈

- ・ 見舞金額 1,000,000円
- ・ 相手方 石川県
- ・ 贈呈方法 石川県と今後調整の上、贈呈

Ⅲ 「オールひょうご」での官民連携した総合的な支援

● 令和6年能登半島地震への義援金の募集

兵庫県と兵庫県議会、地方4団体が中心となり、民間団体の協力を得て、「令和6年能登半島地震兵庫県義援金募集委員会」を設立し、**被災者支援のための義援金を募集**

- ・ 募集期間：令和6年1月4日（木）～4月30日（火）
- ・ 募集方法：口座振込、募金箱

口座：三井住友銀行 兵庫県庁出張所（普通：3294602）
名義：令和6年能登半島地震兵庫県義援金募集委員会

- ・ 義援金使途：令和6年能登半島地震の被災者支援に充当

1/15現在の義援金額：12,727,524円

※構成団体（計14団体・順不同）

兵庫県、兵庫県議会、兵庫県市長会、兵庫県市議会議長会、兵庫県町村会、兵庫県町議会議長会、日本赤十字兵庫県支部、兵庫県共同募金会、兵庫県社会福祉協議会、神戸新聞厚生事業団、兵庫県商工会議所連合会、兵庫県商工会連合会、株式会社ラジオ関西、株式会社サンテレビジョン

被災地への今後の支援

阪神・淡路大震災の経験や教訓、これまでの被災地支援の経験を活かし、被災地に寄り添った**兵庫県ならではの息の長い支援を、市町と一体となって実施**

1 現時点のニーズに応じた対応

- ・ 現地連絡所を通じた状況の把握
- ・ 他の支援団体との連絡調整
- ・ 救急・救助活動支援
- ・ 避難所運営支援等の継続
- ・ 学校再開支援

- ・ 緊急消防援助隊の派遣（ヘリ1機・陸上部隊52隊・182名）
- ・ 市町と連携し、ローテーションにより職員の派遣を継続（第2陣から新たに3市町が参加）
- ・ 震災・学校支援チーム（EARTH）の派遣を開始（12名）

2 今後、想定されるニーズに対する対応

- ・ 応急仮設住宅の建設
- ・ 被災者のこころのケア
- ・ ボランティア支援 等

- ・ 県社会福祉協議会・ひょうごボランティア現地調査員（ボランティア支援等のニーズ把握）を派遣（3名）

※その他支援要請に応じて対応

○更に、復旧・復興計画策定に係る知見の提供を検討